

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 450 号	氏名	濱崎 幸司
学 位 審 査 委 員	主 査 中尾 一彦 副 査 酒井 英樹 副 査 川上 純		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、肝移植後の C 型肝炎治療のモデルとして、肝細胞増殖因子 (HGF)並びに免疫抑制剤存在下でのインターフェロン誘導抗ウイルス蛋白の発現について検討を行ったもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 正常ヒト培養肝細胞を用い、インターフェロン誘導抗ウイルス蛋白の一つである double-stranded RNA-dependent protein kinase(PKR)の発現に与える HGF 並びに各種免疫抑制剤の影響を Western blotting で解析しており、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 HGF 存在下でインターフェロンによる PKR 発現誘導が増強されたことから、肝再生期におけるインターフェロン治療の有用性が示唆された。タクロリムスはシクロスポリンに比してPKR 誘導を有意に抑制することが明らかとなった。本研究成果は、肝移植後の C 型肝炎に対する最適な治療法の確立に寄与することが期待される。			
以上のように本論文は肝移植後の C 型肝炎治療研究に貢献するところが 大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断 した。			